

エコアクション21

環境経営レポート

2025年度

対象期間：2025年1月～12月



報告日 2026年3月25日

甘糟化学産業株式会社

環境経営方針

1. 私たちは、深刻化する地球温暖化や今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、SDGs（持続可能な開発目標）の理念に共感し、化成品製造の事業活動における環境負荷に対して低減を図るために、環境マネジメントシステム（エコアクション21）を維持し、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

2. 私たちは、全員一致でお客様満足（お客様重視）を第一に、品質マネジメントシステムの規格要求事項に従った品質マネジメントシステムを構築、維持し、安定した安全な、高品質の製品を社会に提供し、社会貢献を致すと共に、従業員の幸せを追求します。

<環境保全への行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ① 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 廃棄物の削減の推進
- ③ 水資源の節水
- ④ 化学物質の適正管理と環境への排出量の削減
- ⑤ 製品及びサービスに関する環境配慮の推進

これらについて環境経営目標・環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規や当社が約束したことを遵守します。

3. 地域と共存できる企業活動の推進に努めます。

4. 環境への取り組みを全従業員に周知徹底すると共に環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2018 年 11 月 20 日

甘糟化学産業株式会社

代表取締役社長

甘糟 久美子

■ 事業所の概要

(1) 事業者名称及び代表者

甘糟化学産業株式会社
代表取締役社長 甘糟 久美子

(2) 所在地

本社 〒101-0037 東京都千代田区神田西福田町3番地 RBM神田ビル5階
大阪支店 〒541-0044 大阪府大阪市中央区伏見町4-4-10 新伏見町ビル7階
名古屋支店 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内2-8-28
神戸工場 〒651-2228 兵庫県神戸市西区見津が丘5-2-14
千葉工場 〒270-0203 千葉県野田市関宿元町423
北海道支店 〒047-0261 北海道小樽市銭函3-263-16 (銭函製造所を含む)

(3) 環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理責任者	常務取締役兼社長室長	甘糟 淳一	TEL:03-6632-3005	FAX:03-3256-8580
推進事務局	本社総務部課長	矢口 正之	TEL:03-6632-3005	FAX:03-3256-8580

(4) 事業内容

化学工業薬品等製造販売

(5) 事業規模 (2025年12月末日現在)

資本金 100 百万円
総売上高 10,362 百万円
総従業員数 101 人

認証・登録の対象事業所の規模

	従業員数	製品生産量	床面積
本社・東京本店	33 人	t	440 m ²
大阪支店	16 人	t	320 m ²
名古屋支店	4 人	t	65 m ²
神戸工場	16 人	2,628 t	4,000 m ²
千葉工場	23 人	6,452 t	3,480 m ²
北海道支店	9 人	2,226 t	681 m ²
合計	101 人	11,306 t	8,986 m ²

(6) 事業年度

1 月 ~ 12 月

■ 認証・登録の対象組織・活動

(1) 登録組織名

甘糟化学産業株式会社

(2) 活動

化学工業薬品等製造販売

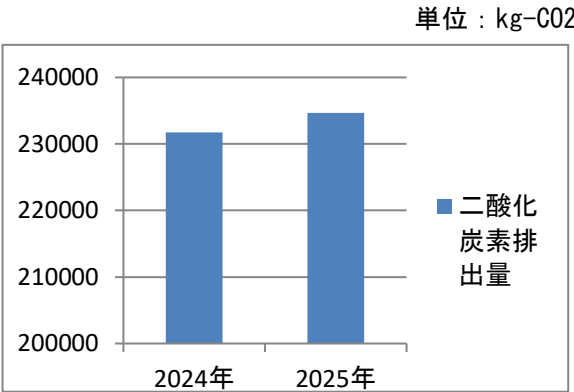
(3) 社内体制・組織

別紙の通り

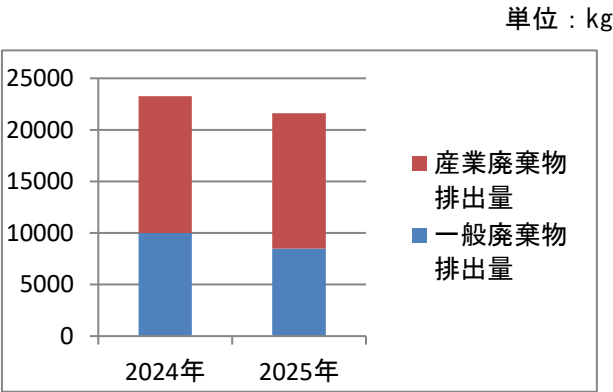
■ 主な環境負荷の実績 【対象事業所合計】

項目	単位	2024年	2025年
二酸化炭素排出量*	kg-CO ₂	231,735	234,649
一般廃棄物排出量	kg	10,004	8,493
産業廃棄物排出量	kg	13,274	13,112
水排水量	m ³	6,241	6,426

- ◆ 2024年度を基準年度として以降6事業所の実績値を合算
- ◆ 電力に使用する二酸化炭素排出係数：各事業所にて使用している電力会社の2025年度の排出係数
 - 本社・東京本店 □ 千葉工場…東京電力 0.431
 - 大阪支店 □ 神戸工場…関西電力 0.419 □ 名古屋支店…中部電力0.421
 - 北海道支店…北海道電力 0.535



二酸化炭素排出量の変遷



廃棄物排出量の変遷

■ 環境目標及びその実績 【対象事業所合計】

	単位	基準年度 2024年	2025年度			下段：基準年度比	
			目標	実績	目標達成率	2026年度 目標	2027年度 目標
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	231,735	230,822 99.6%	234,649 101.3%	98.4%	234,302 99.9%	234,031 99.7%
廃棄物の削減	Kg	23,278	23,202 99.7%	21,605 92.8%	107.4%	20,805 96.3%	20,737 96.0%
水使用量の削減	m ³	6,241	6,179 99.0%	6,426 103.0%	96.2%	6,325 98.4%	6,286 97.8%
法的規制対象化学物質使用量の管理	Kg	659,898	—	645,685	—	—	—
環境への法規制対象化学物質排出率の削減	%	0.43	0.43 100.0%	1.12 260.5%	38.1%	0.41 36.6%	0.40 35.7%
環境配慮製品の開発・販売促進	Kg	730,587	737,893 101.0%	650,471 89.0%	88.2%	663,265 102.0%	670,162 103.0%

- ◆ ここでいう法的規制対象化学物質とはP R T R対象物質のこと
- (◆ 弊社はP R T R対象物質そのもの及びP R T R対象物質を含有する製品を製造販売しているため、その削減目標は設定していない
- ◆ 環境への法的規制対象化学物質排出率 = 製造ロス中のP R T R対象物質の量 ÷ P R T R対象物質使用量
尚2026年度より千葉工場・神戸工場の計測方法を統一するため、次年度の計画は設定しない事とする。

■ 環境活動の取り組み計画と評価及び次年度の評価

(1) 二酸化炭素排出量の削減

◇電力の削減

①取り組み計画 ★：取り組んでいる事業所

取り組み計画	対象事業所					
	本社・東京本店	大阪支店	名古屋支店	神戸工場	千葉工場	北海道支店
電力の削減	★	★	★	★	★	★
1. 省エネ目標の説明	★	★	★	★	★	★
2. 不要照明の消灯	★	★	★	★	★	★
3. O A機器の省電力設定	★	★	★	★	★	★
4. エア配管の漏れの修理				★	★	★
5. 冷房 28℃、暖房 20℃	★	★	★	★	★	★
6. 設備の空運転防止				★	★	
7. すだれ、ブラインドを設置し室温上昇防止による冷房節	★	★	★	★	★	★
8. クールビズ・ウォームビズ運動の実施	★	★	★	★	★	★
9. 照明器具の定期的な清掃、交換	★	★	★	★	★	★
10. 設備の入替・更新時には省エネルギー型機を導入					★	

◆ 北海道支店には銭函製造所の取り組み計画を含む

②達成状況と目標 下段：2025年度目標比

	対象事業所	単位	基準年度 2024年	2025年度				2026年度	2027年度
				目標	実績	目標達成率	達成状況	目標	目標
電力の削減	本社・東京本店	kg-CO ₂	23,214	23,098 99.5%	22,166 95.5%	104.2%	○	22,982 99.5%	22,865 99.0%
	大阪支店	kg-CO ₂	5,678	5,672 99.89%	9,389 165.4%	60.4%	—	8,977 158.3%	8,984 158.4%
	名古屋支店	kg-CO ₂	3,207	3,175 99.0%	3,037 94.7%	104.5%	—	3,007 94.7%	2,976 93.7%
	神戸工場	kg-CO ₂	40,527	40,325 99.5%	41,246 101.8%	97.8%	△	41,164 102.1%	41,081 101.9%
	千葉工場	kg-CO ₂	96,643	96,595 100.0%	94,858 98.2%	101.8%	○	94,811 98.2%	94,801 98.1%
	北海道支店	kg-CO ₂	13,205	12,941 98.0%	15,911 120.5%	81.3%	×	15,905 122.9%	15,904 122.90%
	対象事業所 合計	kg-CO ₂	182,474	181,806 99.6%	186,609 102.3%	97.4%	△	186,846 102.8%	186,613 102.6%

◆ 基準年度：2024年

◆ 電力に使用する二酸化炭素排出係数：各事業所にて使用している電力会社の2025年度の排出係数

□本社・東京本店 □千葉工場…東京電力 0.431

□大阪支店 □神戸工場…関西電力 0.419 □名古屋支店…中部電力0.421

□北海道支店…北海道電力 0.535

◆達成状況： 110%以上…◎ 100～110%…○ 100～85%…△ 85%以下…×

※大阪支店・名古屋支店は移転により評価基準が変動したため評価は控える事とする。

③環境管理責任者の評価（結果と今後の方向）

電力の削減
対象事業所の合計達成率： 97.4%
達成状況： △
全社ベースでは未達成となった。東京本店・千葉工場は夏季の電力管理が功を奏し目標達成。名古屋支店も新事務所移転による節電効果が出て達成できた。 銭函製造所は生産増加による稼働時間の増加、 大阪支店は2024年5月新事務所への移転により、エアコンの動力が都市ガスから電気に変化したため大幅な使用増となった。

■ 環境活動の取り組み計画と評価及び次年度の評価

◇ガソリンの削減

①取り組み計画★：取り組んでいる事業所

取り組み計画	対象事業所					
	本社・東京本店	大阪支店	名古屋支店	神戸工場	千葉工場	北海道支店
５．フォークリフトのエコドライブの実施					★	★
６．社用車のエコドライブの実施	★	★	★			

◆ 北海道支店には銭函製造所の取り組み計画を含む

②達成状況と目標◆ 基準年度： 2024年下段：2025年度目標比

	対象事業所	単位	基準年度 2024年	2025年度				2026年度	2027年度
				目標	実績	目標達成率	達成状況	目標	目標
ガソリンの削減	本社・東京本店	kg-CO2	6,522	6,490 99.5%	6,375 97.7%	101.8%	○	6,457 99.5%	6,424 99.0%
	大阪支店	kg-CO2	2,126	2,551 120.0%	3,145 147.9%	81.1%	×	3,774 147.9%	3,774 147.9%
	名古屋支店	kg-CO2	4,659	4,891 105.0%	5,128 110.1%	95.4%	△	5,128 104.8%	5,128 104.8%
	千葉工場	kg-CO2	8,637	8,632 99.94%	8,335 96.5%	103.6%	○	8,331 96.51%	8,330 96.50%
	北海道支店	kg-CO2	2,466	2,367 96.0%	3,262 132.3%	72.6%	×	2,465 104.2%	2,465 104.14%
	対象事業所合計	kg-CO2	24,410	24,931 102.1%	26,245 107.5%	95.0%	△	26,155 104.9%	26,121 104.8%

※大阪支店・名古屋支店は移転により評価基準が変動したため評価は控える事とする。

③環境管理責任者の評価（結果と今後の方向）

ガソリンの削減
対象事業所の合計達成率：95.0%
達成状況：△
全社ベースでは未達成。東京、千葉が達成。
北海道・大阪・名古屋は2024年度より更に車利用の営業活動が増えたためガソリン使用量が増えた。

◇軽油の削減

①取り組み計画★：取り組んでいる事業所

取り組み計画	対象事業所					
	本社・東京本店	大阪支店	名古屋支店	神戸工場	千葉工場	北海道支店
５．フォークリフトのエコドライブの実施				★		★

◆ 北海道支店には銭函製造所の取り組み計画を含む

②達成状況と目標◆ 基準年度： 2024年下段：2025年度目標比

	対象事業所	単位	基準年度 2024年	2025年度				2026年度	2027年度
				目標	実績	目標達成率	達成状況	目標	目標
軽油の削減	神戸工場	kg-CO2	3,307	3,300 99.8%	2,992 90.5%	110.3%	◎	2,989 90.6%	2,986 90.5%
	北海道支店	kg-CO2	4,199	4,031 96.0%	3,674 87.5%	109.7%	◎	4,197 104.1%	4,197 104.1%
	対象事業所合計	kg-CO2	7,506	7,331 97.7%	6,666 88.8%	110.0%	◎	7,186 98.0%	7,183 98.0%

③環境管理責任者の評価（結果と今後の方向）

軽油の削減
対象事業所の合計達成率：110.0%
達成状況：◎
各工場共に軽油の使用量はフォークリフトの使用量に比例しています。銭函製造所は109.7%とフォークリフトの使用時間が減った為達成。神戸工場はフォークリフトとリーチリフトを効率よく切り替え運転を行い110%達成。

◇灯油の削減

①取り組み計画★：取り組んでいる事業所

取り組み計画	対象事業所					
	本社・東京本店	大阪支店	名古屋支店	神戸工場	千葉工場	北海道支店
ボイラーの適切な使用・管理					★	
暖房 20℃						★

◆ 北海道支店には銭函製造所の取り組み計画を含む

②達成状況と目標◆ 基準年度： 2024年下段：2025年度目標比

	対象事業所	単位	基準年度 2024年	2025年度				2026年度	2027年度
				目標	実績	目標達成率	達成状況	目標	目標
	千葉工場	kg-CO2	937	936 99.93%	937 100.0%	100%	○	936 99.97%	936 100.01%
	北海道支店	kg-CO2	13,185	12,657 96.0%	14,192 107.6%	89.2%	△	13,180 104.1%	13,178 104.12%
	対象事業所合計	kg-CO2	14,122	13,594 96.3%	15,129 107.1%	89.8%	△	14,116 103.84%	14,115 103.83%

③環境管理責任者の評価（結果と今後の方向）

灯油の削減
対象事業所の合計達成率：89.8%
達成状況：△
千葉工場は達成。銭函製造所は前年より気温の上昇・下降時期が早まり購入回数が増えてしまった。

○二酸化炭素排出量の削減

◆ 基準年度： 2024年								下段：2025年度目標比	
	対象事業所	単位	基準年度 2024年	2025年度				2026年度	2027年度
				目標	実績	目標達成率	達成状況	目標	目標
本社・東京本店の 二酸化炭素排出量	kg-CO2	29,736	29,588 99.5%	28,541 96.0%	103.7%	○	29,439 99.5%	29,289 99.0%	
大阪支店の 二酸化炭素排出量	kg-CO2	7,804	8,223 105.4%	12,533 160.6%	65.6%	—	12,751 155.1%	12,758 155.2%	
名古屋支店の 二酸化炭素排出量	kg-CO2	7,866	8,066 102.5%	8,165 103.8%	98.8%	—	8,135 100.9%	8,104 100.5%	
神戸工場の 二酸化炭素排出量	kg-CO2	43,834	43,625 99.5%	44,238 100.9%	98.6%	△	44,153 101.2%	44,067 101.0%	
千葉工場の 二酸化炭素排出量	kg-CO2	106,217	106,164 100.0%	104,131 98.0%	102.0%	○	104,078 98.0%	104,068 98.0%	
北海道支店の 二酸化炭素排出量	kg-CO2	33,055	31,994 96.8%	37,038 112.1%	86.4%	△	35,748 111.7%	35,745 111.7%	
対象事業所の 二酸化炭素排出量	kg-CO2	228,512	227,661 99.6%	234,646 102.7%	97.0%	△	234,304 102.9%	234,031 102.8%	

◆達成状況： 110%以上…◎ 100～110%…○ 100～85%…△ 85%以下…×

※大阪支店・名古屋支店は移転により評価基準が変動したため評価は控える事とする。

環境管理責任者の評価（結果と今後の方向）

二酸化炭素排出量の削減

対象事業所のの合計達成率 97.0% 達成状況：△

コロナによる行動制限の影響も無くなり、営業活動が活発化したためガソリンの使用量は全般的に増えた。また猛暑による空調機器の使用増加や大阪支店のエアコン動力の都市ガスから電力への変更による電気使用量の増加により全社目標は未達成となる。2026年度は大阪支店・名古屋支店共新事務所ベースでのデータ比較が可能になるので、引き続き今後もkg-CO2の削減意識を持って全社で取り組んでいきたい。

(2) 廃棄物の削減

①取り組み計画★：取り組んでいる事業所

取り組み計画	対象事業所					
	本社・東京本店	大阪支店	名古屋支店	神戸工場	千葉工場	北海道支店
一般廃棄物の削減	★	★	★	★	★	★
1. 材質、形状による分別回収	★	★	★	★	★	★
2. 使用済み書類や封筒の再利用及びポスター等の裏紙の利用	★	★	★	★	★	★
3. 文書の電子化に取り組む	★	★	★	★	★	★
4. ペーパーレス化					★	
5. 2アップ印刷や両面を活用した印刷及びコピーの徹底					★	
6. 段ボールの有効利用					★	
産業廃棄物の削減		★		★	★	★
1. 材質、形状による分別回収		★		★	★	★
2. 保管や物流での破損缶の削減		★			★	★
3. 容器、フィルム等工程ロスの削減		★		★	★	
4. 原料用容器の大型化					★	★
5. 廃油、廃ブラの削減目標を説明				★		
6. 規格外アルコール製品を燃料等に転換利用				★		
7. 回収原料の品質を選別して蒸留				★		
8. リサイクル先の開拓				★		
9. 再使用又はリサイクルしやすい物を優先的に使用する					★	
10. マニフェストをもとに廃棄物の適正な処理を確認する					★	

◆ 北海道支店には銭函製造所の取り組み計画を含む

②達成状況と目標◆ 基準年度：2024年下段：2025年度目標比

	対象事業所	単位	基準年度 2024年	2025年度				2026年度	2027年度
				目標	実績	目標達成率	達成状況	目標	目標
一般廃棄物の削減	本社・東京本店	Kg	3,348	3,331 99.5%	3,194 95.4%	104.3%	○	3,315 99.5%	3,298 99.0%
	大阪支店	Kg	2,013	2,012 99.95%	746 37.1%	269.7%	－	746 37.08%	746 37.08%
	名古屋支店	Kg	97	100 103.6%	129 133.7%	77.5%	－	139 139.0%	129 129.0%
	神戸工場	Kg	1,277	1,270 99.5%	1,389 108.8%	91.4%	△	1,387 109.2%	1,384 109.0%
	千葉工場	Kg	1,965	1,964 99.95%	1,554 79.1%	126.4%	◎	1,554 79.12%	1,553 79.07%
	北海道支店	Kg	1,305	1,292 99.0%	1,481 113.5%	87.2%	△	1,279 99.0%	1,266 98.0%
	対象事業所合計	Kg	10,004	9,969 99.7%	8,493 84.9%	117.4%	◎	8,420 84.5%	8,376 84.0%
産業廃棄物の削減	本社・東京本店	Kg	－	－	－	－	－	－	－
	大阪支店	Kg	109	109 100.00%	74 67.9%	147.3%	－	74 67.89%	76 69.72%
	名古屋支店	Kg	－	－	－	－	－	－	－
	神戸工場	Kg	4,022	4,002 99.5%	5,235 130.2%	76.4%	×	5,209 130.2%	5,183 129.5%
	千葉工場	Kg	7,498	7,494 99.95%	5,427 72.4%	138.1%	◎	5,424 72.38%	5,423 72.36%
	北海道支店	Kg	1,680	1,663 99.0%	2,415 143.8%	68.9%	×	1,679 101.0%	1,679 101.0%
	対象事業所合計	Kg	13,309	13,267 99.7%	13,151 98.8%	100.9%	○	12,386 93.4%	12,361 93.2%
本社・東京本店の廃棄物量		Kg	3,348	3,331 99.5%	3,194 95.4%	104.3%	◎	3,315 99.5%	3,298 99.0%
大阪支店の廃棄物量		Kg	2,122	2,121 100.0%	820 38.6%	258.7%	－	820 38.7%	822 38.8%
名古屋支店の廃棄物量		Kg	97	100 103.6%	129 133.7%	77.5%	－	139 139.0%	129 129.0%
神戸工場の廃棄物量		Kg	5,299	5,272 99.5%	6,624 125.0%	79.6%	×	6,596 125.1%	6,567 124.6%
千葉工場の廃棄物量		Kg	9,463	9,458 99.9%	6,981 73.8%	135.5%	◎	6,978 73.8%	6,976 73.8%
北海道支店の廃棄物量		Kg	2,985	2,955 99.0%	3,896 130.5%	75.8%	×	2,958 100.1%	2,945 99.7%
対象事業所の総廃棄物量		Kg	23,313	23,236 99.7%	21,644 92.8%	107.4%	◎	20,806 89.5%	20,737 89.2%

◆ 北海道支店には銭函製造所の取り組み計画を含む

◆達成状況： 110%以上…◎ 100～110%…○ 100～85%…△ 85%以下…×

※大阪支店・名古屋支店は移転により評価基準が変動したため評価は控える事とする。

③環境管理責任者の評価（結果と今後の方向）

一般廃棄物の削減
対象事業所の合計達成率：117.4% 達成状況：◎ ペーパーレスに取り組んだ事業所が多く各事業所とも大きく目標達成した。特に大阪支店（270%）千葉工場（126%）と前年の大量廃棄物処分により一般廃棄物処理は大きく減少した。各事業所とも引き続きペーパーレスへの対応に努力していく。

産業廃棄物の削減
対象事業所の合計達成率：100.9% 達成状況：○ 全社では達成した。特に大阪支店（211%）千葉工場（138%）と前年の大量廃棄物処分により産業廃棄物処理は大きく減少した。

(3) 総排水量の削減

①取り組み計画

★：取り組んでいる事業所

取り組み計画	対象事業所					
	本社・東京本店	大阪支店	名古屋支店	神戸工場	千葉工場	北海道支店
水道水・工業用水の節水	★	★	★	★	★	★
1. 水道水使用量削減の説明	★	★	★	★	★	★
2. 節水のよびかけと実施	★	★	★	★	★	★
3. 水栓のこまめな開閉	★	★	★	★	★	★
6. 水道配管からの漏水の定期的な点検	★	★	★	★	★	★
4. バルブの調整				★		
5. 園芸用水、散水を水道水から工業用水に切り替える				★		
7. 工業用水の節水				★		

◆ 北海道支店には銭函製造所の取り組み計画を含む

②達成状況と目標

◆ 基準年度：2024年

下段：2025年度目標比

	対象事業所	単位	基準年度 2024年	2025年度				2026年度	2027年度
				目標	実績	目標達成率	達成状況	目標	目標
水道水・工業用水の節水	本社・東京本店	m ³		—	—	—	—	—	—
	大阪支店	m ³		—	—	—	—	—	—
	名古屋支店	m ³	81	122 150.6%	41 50.6%	297.6%	—	53 43.4%	41 33.6%
	神戸工場	m ³	1,774	1,756 99.0%	1,707 96.2%	102.9%	○	1,689 96.2%	1,672 95.2%
	千葉工場	m ³	3,373	3,371 99.94%	3,592 106.5%	93.8%	△	3,590 106.5%	3,590 106.5%
	北海道支店	m ³	1,013	1,003 99.0%	1,086 107.2%	92.4%	△	993 99.0%	983 98.0%
対象事業所の総節水量		m ³	6,241	6,252 100.2%	6,426 103.0%	97.3%	△	6,325 101.2%	6,286 100.5%

◆ 本社・東京本店は2014年3月新事務所移転により使用量が把握できなくなったため除外

◆ 大阪支店は2024年5月新事務所移転により使用量が把握できなくなったため除外

◆ 北海道支店には銭函製造所の取り組み計画を含む

◆ 達成状況： 110%以上…◎ 100～110%…○ 100～85%…△ 85%以下…×

③環境管理責任者の評価（結果と今後の方向）

水道水・工業用水の節水
対象事業所の合計達成率：97.3%
達成状況：△
神戸工場は110%と目標達成。千葉工場は水道水を原料とする製品製造が増え目標達成比94%となる。尚、名古屋支店は自社ビルへの移転により再び水道使用量の計測が可能になった。

(4) 化学物質使用量管理及び環境への排出率の削減

①取り組み計画 ★：取り組んでいる事業所

取り組み計画	対象事業所					
	本社・東京本店	大阪支店	名古屋支店	神戸工場	千葉工場	銭函製造所
法的規制対象化学物質の適正管理				★	★	
1. P R T R対象物質の管理				★	★	
2. 自治体条例対象物質の管理				★	★	
環境への排出率の削減				★	★	
1. 品質管理、工程管理を徹底し不良品の発生を削減する				★		★
2. 溶剤配管タンクの液漏れ点検を実施する				★		
3. 洗浄溶剤を入れた容器は蓋をして蒸発を抑制する				★		
4. 混合施設において活性炭により化学物質の大気への排出を抑制する				★		
5. 燃料油や溶剤等の揮発防止に取り組む					★	
6. 受け入れロス、充填ロスの削減					★	★
7. 設備機器の日常点検の実施					★	★
8. タンクライン洗浄液の再利用					★	
9. P R T Rに基づいて取り組む					★	

②達成状況と目標

法的規制対象化学物質の適正管理

	対象事業所	単位	基準年度	2025年実績
P R T R対象物質使用量	神戸工場	Kg	173,500	209,762
	千葉工場	Kg	486,398	435,923
	北海道支店	Kg	—	—
	対象事業所合計	Kg	659,898	645,685

- ◆ 基準年度：2024年
- ◆ 北海道支店（銭函製造所を含む）は法規制対象化学物質を使用していない
- ◆ ここでいう法的規制対象化学物質とはP R T R対象物質のこと
- ◆ 弊社はP R T R対象物質そのもの及びP R T R対象物質を含有する製品を製造販売しているため、その削減目標は設定していない

環境への排出率の削減 ◆ 基準年度：2024年 下段：2025年度目標比

	対象事業所	単位	基準年度 2024年	2025年度				2026年度	2027年度
				目標	実績	目標達成率	達成状況	目標	目標
環境への排出率の削減	神戸工場	%	2.10	2.10 100.0%	1.80 85.7%	116.7%	◎	1.80 85.7%	1.81 86.3%
	千葉工場	%	-0.20	-0.20 100.0%	0.80 -400.0%	-25.0%	×	0.78 -390.5%	0.78 -390.4%
	銭函製造所	%	—	—	—	—	—	—	—
	対象事業所合計	%	0.43	0.43 100.0%	1.12 260.5%	38.1%	×	0.41 95.3%	0.40 93.0%

- ◆ 銭函製造所（北海道営業所を含む）は法規制対象化学物質を使用していない
- ◆ 環境への法的規制対象化学物質排出率 = 製造ロス中のP R T R対象物質の量 ÷ P R T R対象物質使用量
- ◆ 達成状況： 110%以上…◎ 100～110%…○ 100～85%…△ 85%以下…×

③環境管理責任者の評価（結果と今後の方向）

法的規制対象化学物質の適正管理 ・ 環境への排出率の削減
対象事業所の合計達成率：38.1% 達成状況：×
千葉工場は大きく排出率を下げており、PRTR対象物質自体も大幅に減少しているため計測が困難になってきており計算上では正しい評価が出来なくなっている。神戸工場は溶剤製品の製造量が増加しておりPRTR対象物質の使用量は増えている。いずれにせよ2026年度より2工場の計測方法を統一することで、法的規制物質の使用量を会社全体で適正に把握し削減する姿勢を進めていきたい。

(5) 環境配慮製品の開発・販売促進

①取り組み計画

★：取り組んでいる事業所

取り組み計画	対象事業所					
	本社・東京本店	大阪支店	名古屋支店	北海道支店	千葉工場	神戸工場
製品に関する環境配慮	★	★	★	★		
1. P R T R非該当溶剤の促進	★	★	★	★		
2. 環境配慮製品の出荷量増	★	★	★	★		
3. 環境配慮製品の販売促進	★	★	★	★		

②達成状況と目標

◆ 基準年度：2024年

下段：2025年度目標比

	対象事業所	対象商品	単位	基準年度 2024年	2025年度				2026年度	2027年度
					目標	実績	目標達成率	達成状況	目標	目標
製品に関する環境配慮	東京本店	防水用洗浄剤 950TD SEEDクリーナーGT NA 環境希釈剤 RAソルベント DP64 RA-N(16L・200kg) ネオコールR7 その他、環境対応型溶剤用原料環境対応型溶剤の受託製造品など	Kg	655,172	661,724 101.0%	575,433 87.8%	87.0%	△	586,942 88.7%	592,696 89.6%
	大阪支店		Kg	51,605	52,121 101.0%	49,304 95.5%	94.6%	△	49,787 95.5%	50,290 96.5%
	名古屋支店		Kg	8,610	9,041 105.0%	9,574 111.2%	105.9%	○	10,053 111.2%	10,531 116.5%
	北海道支店		Kg	15,200	15,352 101.0%	16,160 106.3%	105.3%	○	16,483 107.4%	16,645 108.4%
	対象事業所合計		Kg	730,587	738,238 101.0%	650,471 89.0%	88.1%	△	663,265 89.8%	670,162 90.8%

◆達成状況： 110%以上…◎ 100～110%…○ 100～85%…△ 85%以下…× ※事業所毎の達成状況は製販一体目標の為差し控える

③環境管理責任者の評価（結果と今後の方向）

製品に関する環境配慮
対象事業所の合計達成率：88.1%
達成状況：△
東京：達成率87.0% 防水用洗浄剤が前年に比べ10%強の減少となった。
名古屋：達成率105.9% 既存取引先よりコンスタントに注文が来ている。
大阪：達成率94.6% 既存取引先よりコンスタントに注文が来ている。
北海道：達成率105.3% 既存取引先よりコンスタントに注文が来ている。
全事業所共、新たな販路の開発を行い、拡販に向けて動いていく事。

■ 代表者による全体の評価と見直し

当社がE A 2 1を2008年に三国工場（2019年に神戸に移転、神戸工場となる）より取組を始めて16年目となる。千葉工場・銭函製造所（北海道支店）と製造部門より取組を拡大し、2013年より本社・東京本店・大阪支店・名古屋支店といった営業・事務部門へと広げ全社体制で取り組んでいる。環境方針を基に取り組むべき項目を毎年周知徹底し活動が続けている結果、全社登録となった2014年度より燃料・廃棄物、水道等大幅に削減を達成できた。しかしながら長年の取り組み努力から下げ止まり感も出てきており、今後もより一層の知恵を絞り努力を継続していかなければならない。2022年に本社・東京本店、2024年には大阪支店、2025年には名古屋支店がそれぞれ移転したが、2025年で移転は終了し各事業所において基準年となる基礎となるデータを得る事が出来た。また2025年はコロナ禍の影響もなくなり生産活動や営業活動が従来の状況に戻ったため、全社的に電力やガソリン等の使用量も増えたため2026年は区切りの年として活動を進めたい。引き続き、企業として当然に事業規模を拡大を目指す事が命題であり、その上でのバランスが重要であると考えており、ハード面の拡大により、目標設定そのものを精査する必要があると考える。

これからも創業者より代々伝えられてきたアルコールや化学薬品に懸ける思いを受け継ぎ、環境対応製品等の開発・製造に努め、そして、今後も安全対策をしっかりと行い、安心・安全な製品をお客様にお届けできる様、努めていきたい。

■ 環境関連法規制等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

■ 工場部門

遵守評価日：2025年1月31日

適用される法規制（一部については略称）	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	神戸工場	千葉工場	銭函製造所
下水道法	下水道排水	●		●
浄化槽法	浄化槽		●	
騒音規制法	送風機 (7.5kw)、 空気圧縮機 (11kw×2)	●		
	空気圧縮機 (18.8kw×1、15kw×1) 空調機 (9kw×2)		●	
	空気圧縮機 (7.5kw×1)			●
振動規制法	空気圧縮機 (18.8kw×1、15kw×1) 空調機 (9kw×2)		●	
	空気圧縮機 (7.5kw×1)			●
P R T R 法	第 1 種指定化学物質	●	●	
消防法	危険物製造所、危険物取扱所、危険物貯蔵所	●	●	●
労働安全衛生法	有機溶剤中毒予防規則に該当する有機溶剤	●	●	
	化学物質のリスクアセスメント	●	●	●
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物	●	●	●
工場立地法	千葉工場敷地面積：14,300 m ²		●	
毒物・劇物取締法	屋外貯蔵タンク、屋内貯蔵所・製造所、製造品目	●	●	●
悪臭防止法	指定物質	●	●	
高圧ガス保安法	ボンベ貯蔵所	●	●	
フロン排出抑制法	業務用エアコン等第一種特定製品	●	●	
環境の保全と創造に関する条例 （兵庫県条例）	溶剤充填設備	●		
	溶液混合設備			
千葉県VOC条例	有機溶剤		●	

銭函製造所は家庭用エアコン使用の為フロン排出抑制法適用外

■ 事務所部門

適用される法規制（一部については略称）	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	本社・東京本店	大阪支店	名古屋支店
毒物及び劇物取締法	一般販売業の登録・更新	●	●	●
	毒物劇物取扱責任者の設置	●	●	●
	販売による書面の保管	●	●	●
家電リサイクル法	廃棄時の再商品化料金の支払い	●	●	●
	リサイクル証明書の保管	●	●	●
フロン排出抑制法	業務用エアコン等第一種特定製品		●	●

本社・東京本店はテナント物件の為フロン排出抑制法適用外

環境関連法規の違反はありませんでした。

関係当局より過去3年間にわたって違反や指摘はありませんでした。

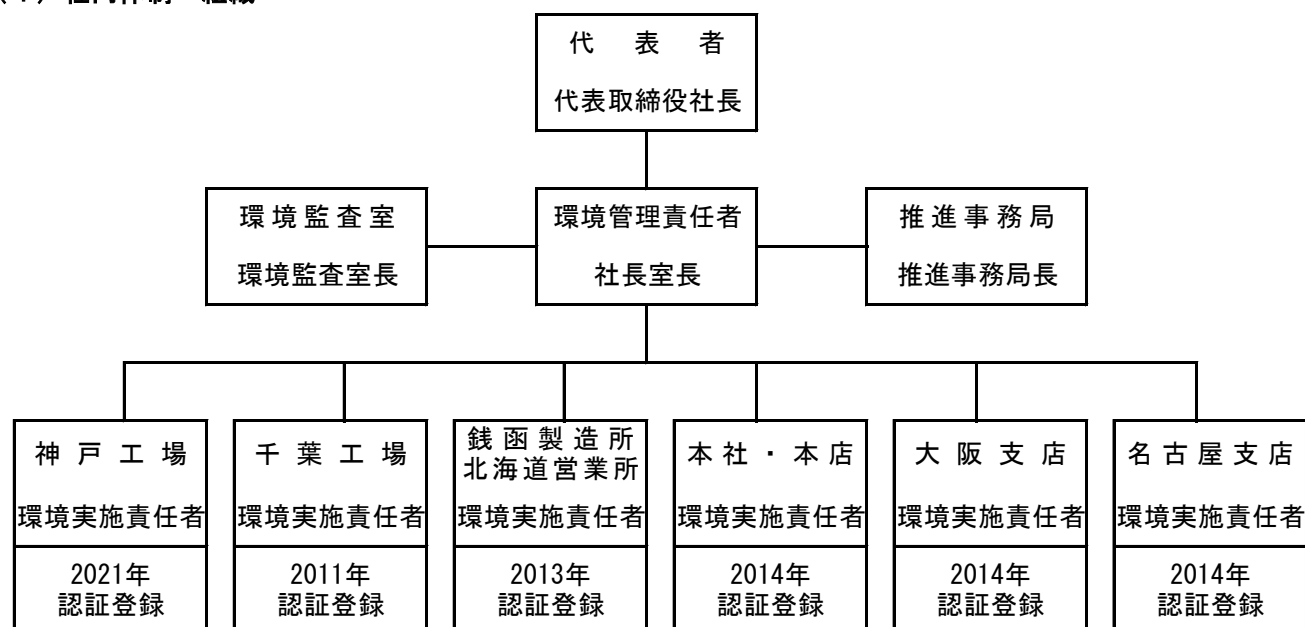
環境経営システム体制組織

制定日：2007年11月20日

改定日：2021年10月20日

環境管理責任者

(1) 社内体制・組織



(2) 役割・責任・権限

役割・責任・権限	
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な、人、情報、設備、費用、時間、技能・技術者を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営目標・環境経営計画書の承認、環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境実施責任者、推進事務局長、環境監査室長を任命 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書の確認、環境経営レポートの確認 ・環境経営活動の取り組み結果を代表者へ報告
推進事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進活動の事務局 ・環境経営活動の実績集計 ・EA21地域事務局との対応窓口 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・中間審査、更新審査の審査書類の取りまとめ ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
環境監査室	・環境経営システムのガイドライン要求事項への適合状況の確認 ・環境経営目標の達成状況、環境経営計画の実施状況の確認 ・監査計画の立案、通知、実施 ・監査結果を代表者、環境管理責任者、推進事務局、被監査者に報告 ・被監査者の是正処置、予防処置の確認、フォローアップ
環境実施責任者	・事業所における環境経営システムの実施責任者 ・環境経営目標・環境経営計画書の作成 ・事業所における環境方針・目標・計画の周知 ・事業所に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・事業所における環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・事業所における「環境関連法規等取りまとめ表」の作成、順守評価の実施 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・事業所の特定された緊急事態への対応のための手順書作成とテスト、訓練、記録 ・事業所の教育訓練の計画・実施・記録 ・事業所の問題点の発見、是正・予防処置の策定
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加